板城西っ子

東広島市立板城西小学校
学校だより
校長　兼島　久美
令和8年10月20日（火）

学校教育目標　　夢と志をもち「自分育て」をする子どもの育成
～かかわりあいながら「いいちえ」「いいあせ」「いいこころ」で自分を伸ばす子ども～



前期終了、後期がスタートしました！



10月9日（金）前期を終了しました。終業式では、各学年の代表児童6名が、前期に頑張ったことを発表しました。どの児童も自分で立てた目標に向かって主体的に行動しており、代表児童の頑張りや思いを真剣に聞いて、多くの児童が良い刺激を受けていました。

そして5日間の秋休みを終え、10月15日（木）には、後期をスタートしました。始業式では、各クラスの前期頑張ったことを振り返りながら、後期は特に、「ことば」を豊かにして、学校教育目標である「かかわりながら『自分育て』をすること」を頑張ってほしいと伝えました。

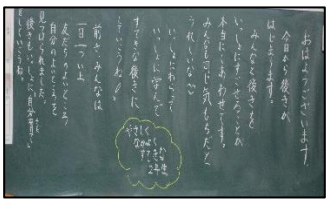
① 『「聞くこと」「本を読むこと」を大切にして、「ことば」を増やそう。』・・・『いいちえ』につながります。

② 『「挨拶をする」「書く」「発表する」など「ことば」を使って、毎日表現し続けることに挑戦しよう。』・・・『いいあせ』につながります。

③ 『友達と「良いことば」を掛け合おう。』・・・『いいこころ』につながります。

コミュニケーションの基本である「挨拶」を含め、子供たちがこれらの3つの姿を見せてくれるよう、教職員一丸となって子供たちの指導・支援に取り組んでまいります。後期もご支援・ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

後期始業式、授業はじめ、後期の良いスタートをきりました！


「後期お迎え黒板」


「後期始業式」




「後期授業はじめ」

















コミュニティ・スクールだより

地域に支えられる地域の学校―板城西小学校―

昨年に続き今年の夏も猛暑に見舞われました。学校の花壇やプランターの野菜や花も何とか夏を乗り切ってくれました。サツマイモもしっかり葉が茂ってくれています。

後期が始まりました。先日、担任の先生方からこれから子供たちと取り組む地域の学習計画を教えてもらいました。低学年はパンジーやビオラの植え付け、芋ほり、サツマイモパーティー（感謝の会）等、中学年は七つ池の見学や防災学習等、高学年は年末の門松づくりや地域の歴史探訪等です。そして、11月14日（土）にはニツ山フェスタ、来年3月にはニツ山登山もあります。後期も多くの地域の皆様に支えていただきながら子供たちの学習活動が続いていきます。



ところで、私はこの学校に勤めさせていただくようになり、子供たちと一緒に地域に出ていく中で板城西地域のいろいろな良さを知ることができました。この地域に生まれ、この地域で暮らしてきましたが、恥ずかしいことに地域のことはほとんど知らなかったことに気付きました。

先日、2年生がお店や郵便局、板城西住民自治協議会の事務所を訪問しました。何人かの保護者の方が同行してくださいました。担任の山田教諭が「今日はたくさんの先生がみんなの安全を守ってくださいます。言われることをよく聞きましょう、そしてしっかりと学びましょう。」と呼びかけると「よろしくお願いします。」と子供たちは保護者の方々にお辞儀をしました。そして見学に向かいました。



お店では、工夫をされていることや、「ここの弁当はおいしかったよ。」というお客さんの声が嬉しいということ等を教えてもらいました。その後、子供たちは2グループに分かれて郵便局と住民自治協議会の事務所を交互に見学しました。私は住民自治協議会の見学を担当したのですが、住民自治協議会では2階が避難場所になっていること、倉庫には段ボールベッドなどの非難に役立つ物が置かれていること等を子供たちは教えてもらいました。事前に質問する内容を考えていた子供たちは、保護者の方々に見守られながら、熱心に質問し、しっかりとメモをとっていました。

地域の皆様、保護者の皆様、もしお時間が許されるなら、今後子供たちの活動に同行していただけないでしょうか。安全面とともに、保護者の方が地域のことを知り、地域や家庭で、共に学んだ板城西の宝について大人と子どもが語り合えるようになるのはとても素敵なことだと思います。

コミュニティ・スクール推進員　宗近秀夫





